

経営比較分析表

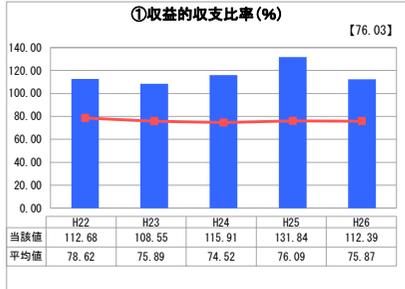
宮崎県 木城町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	87.28	3,326

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,412	145.96	37.08
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,720	25.70	183.66

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



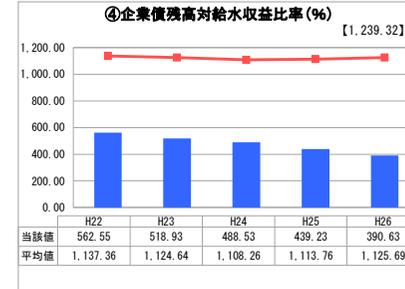
「単年度の収支」



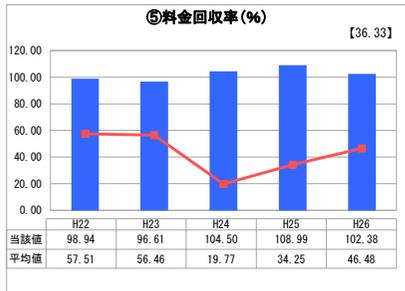
「累積欠損」



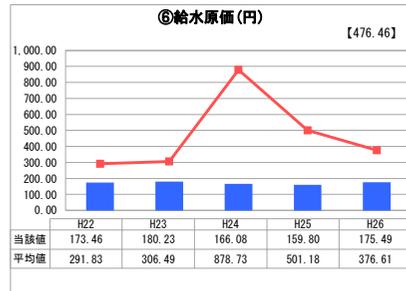
「支払能力」



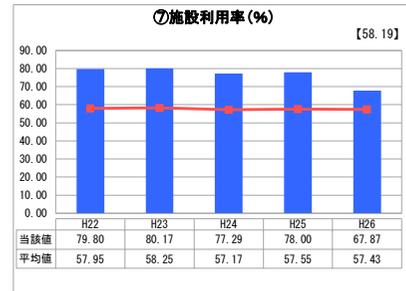
「債務残高」



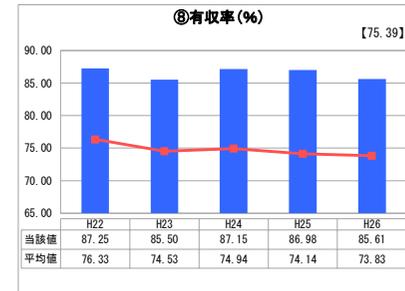
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

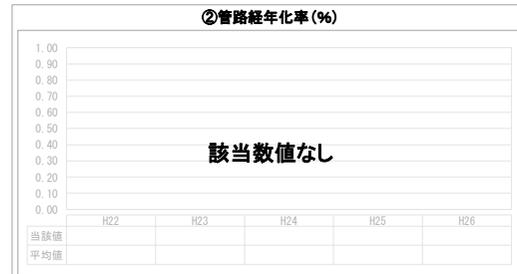


「供給した配水量の効率性」

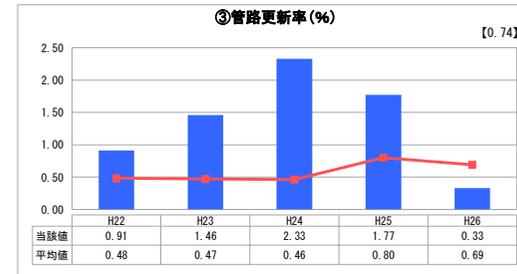
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①「①収益的収支比率」は、100%を上回っており、経営の健全性は保たれているといえます。ただ、今後も更なる費用削減に努めなければなりません。②「⑤料金回収率」は、ほぼ100%を維持しているが、今後の更新投資等への財源確保など、長期経営への審議を行い、状況によっては料金改正等の検討も必要であります。③「⑦施設利用率」は、全体では70~80%と類似団体平均値よりは高い数値を示しております。しかし、山間部など地域によっては、給水人口の減少などで施設利用率も低くなっており、経営の効率性については、改善する必要があります。④「⑧有収率」は、86%前後を推移していますが、配水管路の漏水調査も定期的を実施しております。ただ、消防消火訓練などの消防用水や残塩調整のための排水などにより、これ以上の高い効率性は難しいと考えておりますが、漏水防止につきましては、引き続き努力が必要であります。

2. 老朽化の状況について

平成26年度の「③管路更新率」は平均値より低い数値を示しているが、現在、耐用年数を越えた管路は無いことから、管路更新予定はありません。ただ、今後10年後には、耐用年数を越える管が出て来るから、管路更新計画等が必要となります。なお、新たな住宅地など、必要に応じた管径確保などの布設替工事は随時行っております。また、今後は、町中心部の県道改良の計画などもあり、重要管路の布設替工事等も必要となってきます。

全体総括

現在、「①収益的収支比率」は良好であります。今後、施設・設備等の老朽化に対応するため、限られた財源の中で優先順位を付けた更新計画の整備を行う予定であります。また、その更新計画に基づいた財源確保も重要であります。そこで、今後も更に経営の健全性を高めるため、適切な料金水準についても検討する必要があります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。